

## 事業名：成人検診推進事業（女性特有のがん・大腸がんクーポン検診経費）

保健センター 管理係

政策	03 安心を感じる保健・医療・福祉の充実								
施策	02 健康づくりの推進								
基本事業	01 疾病の早期発見、早期治療及び予防の促進								
開始年度	平成21年度	終了年度	—	実施計画 事業認定	対象	会計区分	一般会計	補助金	

## 事務事業の目的と成果

## 対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・ 20歳、25歳、30歳、35歳、40歳、45歳、50歳、55歳、60歳の女性市民（女性特有のがん）
- ・ 40歳、45歳、50歳、55歳、60歳の市民（大腸がん）

## 手段（事務事業の内容、やり方）

特定年齢に該当する者に無料クーポン券及び検診手帳を送付し、正しい健康意識の普及啓発を行うとともに、対象者が市内医療機関等で子宮頸がん・乳がん、大腸がん検診を受診するための費用を無料化する。

## 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

事業実施により、がん検診受診率の向上とがんの早期発見及び正しい健康意識の高揚が図られる。

## 指標・事業費の推移

区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標1	20歳、25歳、30歳、35歳、40歳、45歳、50歳、55歳、60歳の女性市民の数（H26は20歳、40歳のみ）	人	8,195	7,779	7,923	1,623
対象指標2	40歳、45歳、50歳、55歳、60歳の市民の数	人	8,895	8,542	8,805	8,623
活動指標1	クーポン検診受診件数	件	3,479	2,762	2,936	1,420
活動指標2	クーポン検診委託料	千円	19,061	15,143	15,780	6,670
成果指標1	女性特有のがんクーポン検診平均受診率	%	27.2	22.9	22.4	25.5
成果指標2	大腸がんクーポン検診受診率	%	14	11.5	13.2	11.5
事業費(A)		千円	25,921	20,247	21,178	30,434
正職員人件費(B)		千円	3,612	2,405	2,344	4,694
総事業費(A+B)		千円	29,533	22,652	23,522	35,128

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
25年度	特定年齢に該当する者に無料クーポン券等を送付し、市内医療機関等で子宮頸がん・乳がん、大腸がん検診を受診する検診費用を無料化する。	子宮頸がん・乳がん、大腸がん検診委託料 15,780千円

<b>事業を取り巻く環境変化</b>	
<b>事業開始背景</b>	
がんによる死亡者数は年間30万人を超え、死亡原因の第1位となっているが、女性特有のがん（子宮頸がん・乳がん）の受診率が低い状況から、未来への投資に繋がる子育て支援の一環として、国の政策として平成21年度途中から事業が開始された。【平成23年9月からは、国の「がん検診推進事業実施要綱」に基づき、大腸がん検診が対象として追加され、成人検診推進事業（働く世代の大腸がん検診事業）を開始した。】	
<b>事業を取り巻く環境変化</b>	
国の実施要綱の改正に伴い、成人検診推進事業（女性特有のがん検診事業）と成人検診推進事業（働く世代の大腸がん検診事業）を合わせ、成人検診推進事業（女性特有のがん・大腸がんクーポン事業）として実施することとした。	

<b>平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）</b>	
<b>(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？</b>	
<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 妥当性が低い	<b>理由根拠</b> 本事業は、国の感染症予防事業等国庫負担（補助）金交付要綱の疾病予防対策事業費等補助金の交付を受け、「がん検診推進事業実施要綱」に基づき市が実施する事業である。
<b>(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？</b>	
<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度大きい <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度小さい <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業	<b>理由根拠</b> 本事業は、自覚症状のない方が検診を通して早期に異常を発見できる有効な手段であり、基本事業の目的である「疾病の早期発見・早期治療を図るとともに、生活習慣病予防の実践と予防知識を会得してもらう」に直結しており貢献度は大きい。
<b>(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？</b>	
<input type="checkbox"/> 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば上がっている <input type="checkbox"/> 上がらない	<b>理由根拠</b> がん検診の受診率が伸び悩んでいることから、普及啓発や未受診者への個別勧奨に力を入れるなど、受診率向上に努める。
<b>(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？</b>	
<input type="checkbox"/> 成果向上余地 大 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地 中 <input type="checkbox"/> 成果向上余地 小・なし	<b>理由根拠</b> 未受診者への勧奨方法を工夫することにより、成果向上の可能性はある。
<b>(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算+所要時間）を削減する方法はありますか？</b>	
<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> なし	<b>理由根拠</b> 経費は必要最低限としており、これ以上のコスト削減は難しい。